（別添資料１）

事業所名　SMILE RISE KURA　　**支援プログラム（参考様式）**　　作成日　令和8 年 10 月 1 日

法人（事業所）理念	**感謝の輪を広げ「ありがとう」が溢れる社会を実現します**				
支援方針	**身体の底から「できた！」を体感**				
営業時間	10 時 0 分から 19 時 0 分まで		送迎実施の有無	**あり**	
	支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣（手洗い、排泄、身支度、食事など）の定着を目指します。 日課や活動を通して生活リズムを整え、自分でできることを増やしていきます。			
	運動・感覚	運動プログラムを中心に、身体の使い方や姿勢、バランス感覚などを養います。 トランポリンや運動遊び、サーキット運動などを通して、楽しみながら身体機能の向上を目指します。 繰り返し練習することで身体感覚を育て、「できた」という達成感を積み重ねます。			
	認知・行動	活動の中で順番を待つ、ルールを理解する、課題に取り組むなどの経験を重ね、 集中力や記憶力、問題解決力などの認知機能を育てます。 成功体験を増やしながら、自信を持って行動できる力を育てていきます。			
	言語 コミュニケーション	活動や遊びを通して、職員や友達との関わりを経験し、 言葉によるやり取りや気持ちの伝え方を学びます。 必要に応じて個別の関わりを行い、自分の思いを表現する力や相手の気持ちを理解する力を育てます。			
	人間関係 社会性	集団活動を通して、友達と協力する経験や役割を持つ経験を積み重ねます。 順番を守る、相手を思いやる、ルールの中で活動するなど、 社会生活に必要な基本的な力を身につけていきます。			
家族支援		保護者との情報共有や相談対応を行い、家庭での困りごとや発達に関する不安を解消します。 子どもの成長や課題について共通理解を持ちながら、家庭と事業所が連携して支援を行います。	移行支援	学校生活や将来の社会生活を見据え、 集団行動や生活スキルなど、社会で必要となる力を段階的に身につけられるよう支援します。	
地域支援・地域連携		学校や相談支援事業所、関係機関と連携し、 子どもを中心とした支援体制を構築します。 地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組みます。	職員の質の向上	職員の専門性向上のため、社内研修や外部研修への参加を行い、発達特性の理解や運動療育などの知識・支援技術の習得に努めています。また、職員間でのケース共有や振り返りを通して支援の検討・改善を行い、子ども一人ひとりの特性に応じた質の高い支援が行える体制づくりに取り組んでいます。	
主な行事等		日々の療育活動に加え、季節行事や体験活動を取り入れ、子どもたちが様々な経験を通して成長できる機会を大切にしています。 主な行事として以下のような活動を行います。 ・季節行事（お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など） ・運動イベント（ミニ運動会、体力測定、スポーツイベントなど） ・外出活動（公園遊び、社会見学など） ・制作活動（季節の工作など） ・食育活動（クッキングなど）			